

令和6年度免許法認定講習に係る開講科目の授業概要

No.	授業科目名	授 業 概 要
1	英語学概論 2	英語の使用を可能にしている言語知識とその習得の解明を試みる学問が英語学であるが、本講習前半では英語の音声・文字と意味の基礎的部分に関して理解を深める。また、第二言語習得の知見を踏まえ、学習者にどのように英語の音声や文字に出くわせるかを実践的に学ぶことにより、英語指導能力の向上を図る。後半では英語の発音に関わる音声学の知識を深め、各国の英語の発音を聞くことで発音に関わる方言差を理解する。日本語話者にとって難しい英語の発音について体系的に学ぶことにより、英語指導能力の向上を図る。講習のスタイルとしては、講義、グループ討議、Q&A、プレゼンテーションを織り交ぜて行う予定である。
2	英語文学概論 2	18世紀以降の代表的な小説を概観しつつ、文学研究の方法論、最近の文学理論による英文学史の見直しについても考える。その作業を通して、現代において文学を読むことは、哲学、言語学、記号論、文化人類学、精神分析学、社会学、政治学、歴史学等、様々な学問と接触する機会であることを理解する。また、時間の許す限り原文を参照し、英文学が書き言葉としての英語を作ってきた過程にも注目する。本講習ではブロンテ姉妹から20世紀末までを講義する。
3	英語コミュニケーション概論 2	英語コミュニケーション能力を高めることを目的とし、教室英語や日常的な英会話表現を用いたやり取りを体験する。教員としての英語運用能力を高めるための練習方法を紹介し、実際に行う。短い即興のスピーチができることを最終的な目標とする。
4	比較文化 2	英語圏からの絵本を紹介し、その内容を異文化理解と言葉の使い方の両方の観点から探求し、小学校英語からの接続を踏まえてその活用について理解を深める。簡単な英語コミュニケーション活動から始め、韻文で書かれている絵本や自由散文で書かれている絵本も紹介し、韻律（音節やリズム等）、文化的背景及び多様性について探求する。読み聞かせだけでなく、やり取りのためのリソースとしても活用する。グループ発表を授業時間内に準備・実施する。なお、本講習の一部は英語で行う。
5	異文化理解教育 2	異文化理解が児童・生徒にとってなぜ必要か、それがどのような影響を与えるかを考える。これまでの効果的な異文化理解教育の実践例を紹介し、それをもとに議論する。受講生自身の異文化体験をもとに、自身の対象としている児童、生徒を考慮に入れて活動案を作成し、発表する。
6	中等英語科指導法	英語の授業において、重要な理論的背景知識である第二言語習得及び教育方法をワークショップ形式で学ぶ。特に、前者においては、インプット、アウトプットとインタラクション、後者においては「協同学習」について学ぶ。これらの理論的な知識を基に、中学1年生を対象に、小学校英語からの接続を踏まえた実際の授業を開発し、その模擬授業と検討会を行う（理論と実践の往還）。特に、グループワークを活用し、協同学習を協同的に学ぶ。

7	英語授業づくり	英語の授業において、ペアやグループ活動をより効果的にし、「主体的・対話的で深い学び」を具現化する「ファシリテーション技術」とその考え方をワークショップ形式で学ぶ。また、英語授業設計において、バックワードデザイン（逆向き設計）による単元構成に基づき、実際に Can-do、ルーブリック及びパフォーマンス課題の作成や目標設定と振り返り、形成的評価の充実を目指した実際の授業を開発し、その模擬授業と検討会を行う。
8	教育相談・カウンセリング論	本講習の前半では教育相談の意義と必要性を概説し、教育相談において効果的な援助方法の理解を深める。また、カウンセリング技法などのグループワークを行い、生徒や保護者との関わりについて考える。後半では児童生徒のストレスの発生メカニズム及びマネジメント法について解説するとともに、児童生徒のストレスや対人関係に働きかけるための授業実践例を紹介する。